

原料費調整(スライド)制度に基づく

平成20年1月～3月のガス料金について

平成19年10月30日
北陸ガス株式会社

北陸ガスは、「原料費調整(スライド)制度」に基づいて、平成20年1月～3月検針分に適用される従量料金単価の見直しを行いました。

その結果、別紙のとおり、平成19年10月～12月検針分に比べて従量料金単価を**1 m³あたり0.90円(税込)引上げ**させていただくこととなりました。

今回のガス料金の調整は、平成19年7月～9月のLNGおよびプロパン平均価格(貿易統計値)により算定された平均原料価格が、前期(平成19年4月～6月)との比較で増加したことによるものです。

なお、平成20年1月～3月検針分に適用する料金につきましては、当社の本社および支社等の店頭での掲示や、検針時に各戸にお届けする「ガス使用量のお知らせ(検針票)」などで、お客さまにお知らせいたします。

以上

< 問い合わせ先 >
北陸ガス株式会社
総合企画グループ 担当 加藤
TEL 025-245-2214

< 別紙 >

料金表 (平成20年1月~3月)

供給約款料金 (各月のご使用量に応じてA・B・C・Dいずれかの料金表が適用されます)

現行の従量料金単価(平成19年10月~12月検針分)と比較した場合、1m³あたり0.90円(税込)の引上げとなります。

なお、基準従量料金単価に対して+6.02円(税込)調整して料金を算定いたします。

(税込)

| | 月間使用量区分 | 基本料金 | 従量料金(1m ³ につき) | | |
|------|--|-----------|---------------------------|--------------|----------|
| | | | 平成20年1月~3月 | 平成19年10月~12月 | 基準従量料金単価 |
| 料金表A | 0~20m ³ まで | 546.00円 | 114.69円 | 113.79円 | 108.67円 |
| 料金表B | 20m ³ 超~100m ³ まで | 817.95円 | 101.09円 | 100.19円 | 95.07円 |
| 料金表C | 100m ³ 超~350m ³ まで | 972.30円 | 99.55円 | 98.65円 | 93.53円 |
| 料金表D | 350m ³ 超~ | 3,133.20円 | 93.38円 | 92.48円 | 87.36円 |

基本料金は変わりません

【ガス料金の計算式】

1ヵ月のガス料金 = 基本料金 + ガス使用量 × 従量料金単価

(上記計算の結果、1円未満の端数が生じた場合は端数を切り捨てます)

標準家庭における影響

(税込)

| 1ヵ月のご使用量 | 平成20年1月~3月 適用料金 | 平成19年10月~12月 適用料金 | 増減額 | 増減率 |
|------------------|--------------------|----------------------|-------|-------|
| 47m ³ | 5,569円/月 | 5,526円/月 | 43円/月 | 0.78% |

標準家庭とは、月間のガスご使用量が47m³のご家庭をいいます。なお、標準家庭使用量(47m³)は、当社におけるご家庭1件あたり平均使用量/月(平成13年度~平成17年度の5年間平均)にもとづいております。

お客さまへの周知

- 原料価格につきましては、当社一般ガス供給約款に基づき、当社の本社および支社等の店頭において掲示いたします。
- 個別のお客さまには、見直し後の従量料金単価を検針時に各戸にお届けする「ガス使用量のお知らせ(検針票)」などで、あらかじめお知らせいたします。

平均原料価格と調整単位料金の算定について

| | 平成 19 年 7 月～9 月 原 料 価 格 | (基準原料価格) | 〔平成 19 年 4 月～6 月〕 原 料 価 格 |
|-------------------|----------------------------|------------|------------------------------|
| L N G 平均価格(貿易統計値) | 47,130 円/t | 29,940 円/t | 44,540 円/t |
| プロパン平均価格(貿易統計値) | 71,660 円/t | 42,830 円/t | 69,080 円/t |
| 平均原料価格 | 47,730 円/t | 30,260 円/t | 45,130 円/t |

平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 < \text{平均原料価格} > &= \text{L N G 平均価格(平成 19 年 7 月～9 月貿易統計値)} \times 0.9807 \\
 &\quad + \text{プロパン平均価格(平成 19 年 7 月～9 月貿易統計値)} \times 0.0210 \\
 &= 47,130 \text{ 円/t} \times 0.9807 + 71,660 \text{ 円/t} \times 0.0210 \\
 &= 47,725.251 \text{ 円/t} \\
 &\quad \text{(10 円未満四捨五入)} \\
 &47,730 \text{ 円/t}
 \end{aligned}$$

原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 < \text{原料価格変動額} > &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\
 &= 47,730 \text{ 円/t} - 30,260 \text{ 円/t} \\
 &= 17,470 \text{ 円/t} \text{ [1,510 円(調整バンド)を超えているため調整します]} \\
 &\quad \text{(100 円未満切捨て)} \\
 &17,400 \text{ 円/t}
 \end{aligned}$$

調整単位料金(1 m³あたり)の算定

$$\begin{aligned}
 < \text{調整単位料金} > &= \text{基準単位料金} + 0.033 \text{ 円} \times \text{原料価格変動額} / 100 \text{ 円} \times (1 + \text{消費税率}) \\
 &= \text{基準単位料金} + 0.033 \text{ 円} \times 17,400 \text{ 円} / 100 \text{ 円} \times 1.05 \\
 &= \underline{\underline{\text{基準単位料金} + 6.02910 \text{ 円}}}
 \end{aligned}$$

小数点第 3 位以下の端数は切り捨て

原料価格の変動 100 円につき、従量料金単価を 1 m³あたり 0.03465 円(0.033 円に 1.05(消費税)を乗じた値)調整します。

上記計算の結果、

基準従量料金単価に対し、1 m³あたり + 6.02 円(税込)調整します。

現行の従量料金単価(平成 19 年 10 月～12 月検針分)と比較した場合、1 m³あたり 0.90 円(税込)の引上げとなります。

原料費調整(スライド)制度の概要

L N G およびプロパン原料価格の変動に応じて、3 ヶ月ごとにガス料金の従量料金単価を調整する制度です。

「基準平均原料価格(30,260 円/t)」と「平均原料価格(3 ヶ月ごとの L N G およびプロパン平均価格(貿易統計値)により算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動 100 円につき、1 m³ 当たり 0.03465(0.033 × 1.05) 円従量料金単価を調整します。

料金の小幅かつ頻繁な調整や、大幅な変動を避けるための仕組みを設けています。

- ・「平均原料価格」と「基準平均原料価格」との差額が、1,510 円(調整バンド)以内であるときは、ガス料金の調整は行われません。
- ・「平均原料価格」が、48,420 円(上限値)を超えた場合には「平均原料価格」は 48,420 円であるとしてガス料金の調整を行います。

1 月～ 3 月の 3 ヶ月間の原料費変動結果を 7 月～ 9 月検針分に反映します。

4 月～ 6 月の 3 ヶ月間の原料費変動結果を 10 月～ 12 月検針分に反映します。

7 月～ 9 月の 3 ヶ月間の原料費変動結果を翌年 1 月～ 3 月検針分に反映します。

10 月～ 12 月の 3 ヶ月間の原料費変動結果を翌年 4 月～ 6 月検針分に反映します。